

和やかに新年を祝う



1月4日、「平成18年新年を祝う集い」が総合文化センター「パルナス」ホールで開催され、約130名が参加しました。

あいさつで小野町長が「昨年は旧中里町と旧小泊村が合併して中泊町が誕生した歴史に刻まれる年でした。今年は気持ちを新たに、中里・小泊両地域の交流心のふれあい、情報の共有化を計り、住民主役のまちづくりを進めていきたい。」と抱負を語りました。

参加者は、新年のあいさつを交わすとともに、中里なにもささ保存会の新春演奏や大抽選会を楽しみながら、和やかに新年を祝っていました。

日本海北部沿岸防犯協力会 広報看板設置

日本海北部沿岸防犯協力会がこのほど下前地区の下前漁港内に「密出入国防止」の看板を設置し、12月20日に看板設置式が行われました。式には同会の会員11名が集まり、加藤久宜会長が「会員皆さんの協力のおかげで立派な看板を設置することができた。地元住民や観光客に密出入国を防止するという意識の高揚が図られると思う。」とあいさつし、今後より一層の沿岸防犯活動の強化を確認しました。



合同スキー教室



1月10・11日の2日間にわたって、小泊地区子ども会育成連合会・中泊町スポーツ少年団の合同スキー教室が鮎ヶ沢スキー場で行われました。

子ども会会員とスポーツ少年団員相互の交流とスキー技術の向上を図るとともに、雄大な自然の中でスキーを楽しんでもらおうと実施されたこの教室には、小泊地域の小学4年生から6年生までの男女19人が参加し、全日本スキー連盟公認指導員のもとそれぞれのレベルに合わせた指導を受けました。

参加者たちは、1泊2日のスキー教室で思う存分スキーを楽しんでいました。